



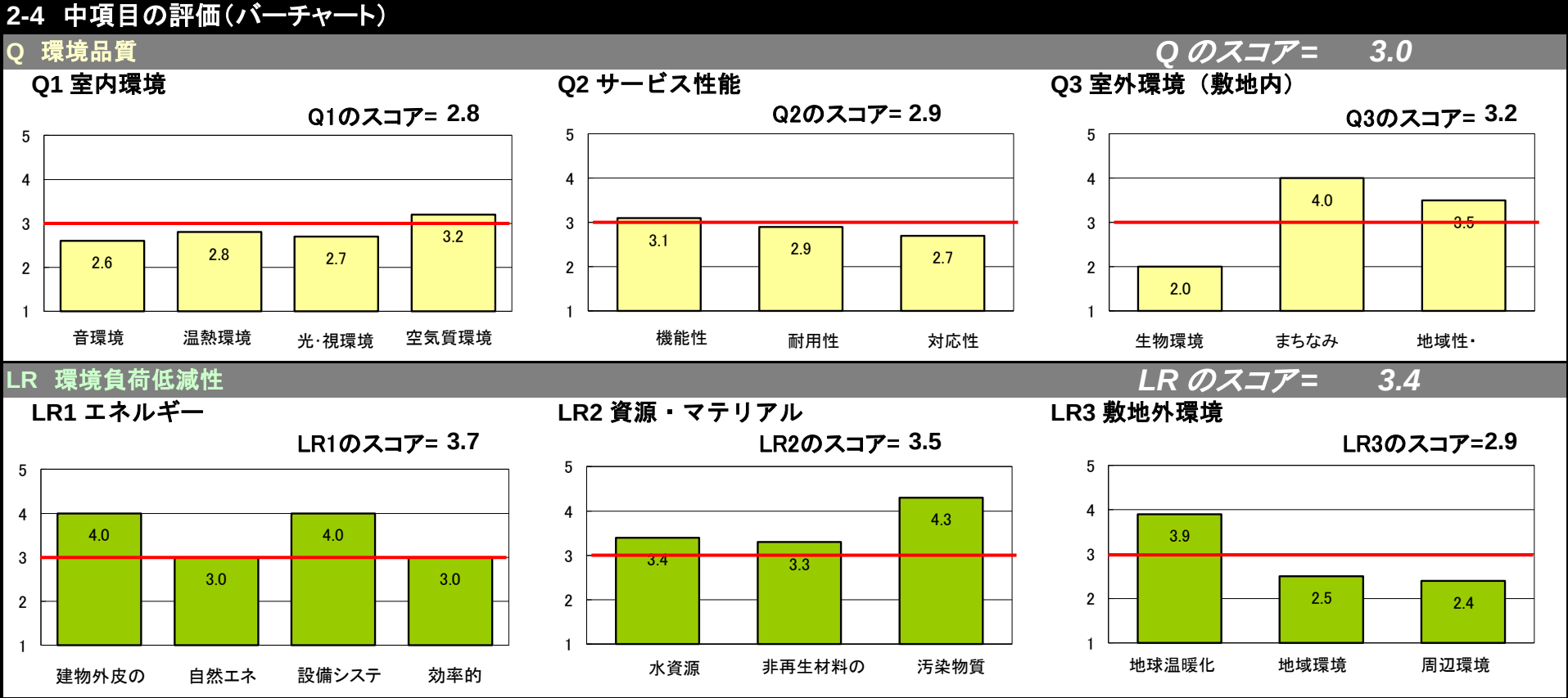
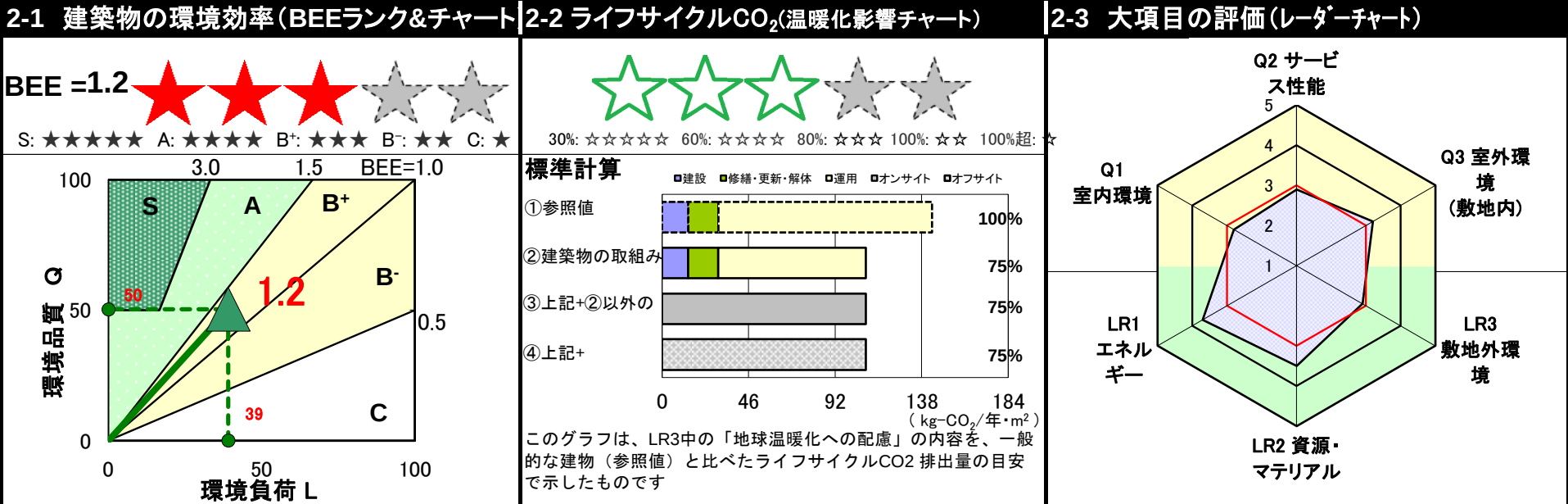
■使用評価マニュアル：CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	NTT西日本AP三篠ビル	階数	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください	
建設地	広島県広島市西区楠木四丁目22-6	構造		
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員		
気候区分	6地域	年間使用時間		
建物用途	事務所	評価の段階		
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日		
敷地面積	1,446 m ²	作成者		
建築面積	739 m ²	確認日		
延床面積	2,138 m ²	確認者		



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.3		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.6	スコア= 2.4	スコア= 3.0
設計の計画上特段に配慮した事項	設計の計画上特段に配慮した事項	設計の計画上特段に配慮した事項
外部に面する壁に断熱材を吹付けている。 / 各居室には冷暖房機器を備え付けている。 / 各種エネルギー消費量の把握及び管理体制の組織化 / 省水型機器節水型水栓を備えている。 リサイクル材の使用。 躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 / ライフサイクルCO ₂ 排出量が一般的な建物と同等	建物配置・形状等の調和。 / 適切な駐輪、駐車台数の確保。	品確法における鉄骨・コンクリートの評価方法で等級1相当。 各使用材料について、更新必要間隔の長い材料を使用。 / P S 及び E P S には点検口を設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される